

ミレニアム開発目標(MDGs)の達成状況

目標1 極度の貧困と飢餓の撲滅

◎貧困に関するターゲット(極度の貧困人口の割合を1990年比で半減)は2010年に達成。

2015年には1/3に! ※中国の発展の影響大

◎サブサハラ・アフリカ人口の41%は依然極度の貧困層

◎開発途上地域における栄養不良人口の割合はほぼ半減

1990-92年: 23.3% → 2014-16年: 12.9%

※ただし、今なお約8億人(世界人口の9人に1人)が栄養不良状態。更なる努力が必要

一日1.25ドル未満で暮らす人々の割合

	1990年	2015年
世界全体	36% (19億人)	12% (8.4億人)
開発途上地域	47%	14%

目標2 初等教育の完全普及の達成

目標3 ジェンダー平等推進と女性の地位向上

◎就学率及び若年層の識字率は向上するも、全ての児童の初等教育修了は実現せず

	1990年	2015年
開発途上地域の就学率	80%	91%
世界の15-24歳男女の識字率	83%	91%

◎開発途上地域総体として見た場合、全ての教育レベルにおける男女格差が解消

◎1995-2015年で、世界の女性議員比率は倍増
※ただし、総数は男性議員の1/5にすぎない

目標7 環境の持続可能性確保

◎飲料水に関するターゲット(改良飲料水源を利用できない人の割合を半減)は2010年の時点で達成
1990年: 24% → 2015年: 9%

◎衛生施設に関するターゲット(改良衛生施設を利用できない人の割合を半減)は達成できず
1990年: 46% → 2015年: 32%

◎スラム居住者生活に関するターゲット(1億人のスラム居住者の生活改善)は達成
※ただし、スラム居住者数自体は増加傾向

開発途上地域におけるスラム居住都市人口の割合

2000年	2014年
39% (7.9億人)	30% (8.8億人)

◎環境の持続可能性については、進展があるものの、CO2排出増大、森林や水産資源の減少等、課題も残す

目標4 乳幼児死亡率の削減

目標5 妊産婦の健康の改善

目標6 HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延の防止

◎世界の5歳未満児死亡率は53%減少するも、ターゲット(1990年比で1/3まで削減)達成までは至らず

◎世界の妊産婦死亡率は45%減少するも、ターゲット(1990年比で1/4まで削減)達成までは至らず

◎開発途上地域の妊産婦のうち、望ましい妊産婦検診を受けているのは2014年段階で52%にすぎず、普遍的なリプロダクティブ・ヘルスへのアクセスが達成されたとはいえない

◎2000-2013年で、世界のHIV/エイズの感染は40%減少

◎2000-2015年で620万人以上の命がマラリア対策により、2000-2013年で3700万人の命が結核対策により救われたと推定される

目標8 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

◎政府開発援助(ODA)は、2000-2014年で66%増加
1990年: 810億ドル → 2014年: 1352億ドル

◎OECD開発委員会(DAC)メンバー国のうち、ODA拠出額のGNI比0.7%目標を達成したのは5カ国のみ。非DACメンバー国のODAも増大(UAEは1.17%)

◎情報通信技術は大幅に普及し、2000-2015年で、インターネット普及率は4倍、携帯電話加入者数はほぼ10倍に

データ出典: 国連ミレニアム開発目標報告書2015
([http://www.un.org/millenniumgoals/2015_MDG_Report/pdf/MDG%202015%20rev%20\(July%201\).pdf](http://www.un.org/millenniumgoals/2015_MDG_Report/pdf/MDG%202015%20rev%20(July%201).pdf)) (注: 2015年及び2014~16年のデータは推定値)